

札幌南ロータリークラブ会報

10
20
MON



■本日のプログラム

＜70周年記念事業＞ポリオ根絶に向けて
第1地域ポリオ根絶コーディネーター

松田 英郎 氏

例会前の音楽（ピアノ 松本 愛絵里さん）

メリカント ワルツ・レント

ドビュッシー アラバスク第1番

食卓の音楽 グリーク ヴァイオリン・ソナタ



UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長

フランチェスコ・アレツツォ

札幌南ロータリークラブ スローガン

なごやぎの70年 つなげよう次世代へ

帰国報告会

青少年交換学生 杉澤 華 さん



青少年交換学生としてアメリカに派遣させていただいた、立命館慶祥高等学校二年の杉澤と申します。こうしてプログラムの報告をお伝えする機会を設けていただき、厚く御礼申し上げます。今回、十一月もの間貴重な体験の詳細と感謝を述べさせて頂きました。

派遣先では、多くの人との交流を通して数々の文化的な学びを得ました。私が想像していなかったカルチャーショックも経験し、言語的な課題だけを不安に感じていた私にとってとても有意義な時間となりました。

私が派遣させていただいたのは、アメリカ南部のルイジアナ州、ラフィエットという町で私が思っていたよりも文化的・政治的に異なっていてその違いについてよく考えるきっかけになりました。その地域はケイジョンやクレオールという人々が多くいて、私のホストファミリーもケイジョンでした。

ケイジョン文化は音楽・食事などで特徴的でその両方を深く体験することができました。例えばザリガニを調味料で味付けして食べたり、独特の音楽があったりするのですが、それらの文化を体験できるところお祭りやお店、イベントに何度も連れて行ってもらいそれらの文化を深く学びました。

また、現地の学校に通ったのですがそこでは教育制度の違いであったり文化の違いを感じました。日本とは違いもっと自主性が重要視されていたり、そもそも習う内容が異なっていたりと興味深い違いが多くありました。学校でできた友達と話してる中でも考え方の違いや常識の差を感じました。

このプログラムの参加を通して、私の国際社会への考えも自身の価値観や感性は大きく変わりました。違う文化で育った人間が交流する時に生じる課題は、現代の移民問題などとも密接に関わっていることでもあります。このプログラムで得たものを単なる留学体験としてでなく、世界平和に貢献することのできる何かに変えられればと思っています。

札幌南ロータリークラブの皆さんにも、ホストしてくださった6200地区の方々、派遣先で良くしてくださった方々に

も大変感謝しております。マンスリーレポートに毎月コメントをくださり、留学生活を乗り越える上で励みになりました。

これからも、今回得られた経験・知見を元に学業に一層精進するとともに、国際社会についてより理解を深める努力をしてみたいです。改めて、今回のご支援を御礼申し上げます。

10月6日クラブフォーラム

「クラブ運営の見直しについて」とのテーマでクラブフォーラムを開催いたしました。

まず、当クラブの財政状況について説明させていただき、それを前提に、今期より年会費を値上げすることの是非や、クラブ運営全体の見直しについてのアイデアについて各テーブルで議論いただきました。

短い時間ではありましたが積極的に意見を出していただき、ありがとうございました。皆様から頂戴した意見につきましては、理事会で共有するなどして今後のクラブ運営に役立てたいと考えております。

今後とも、皆様のご協力をお願いいたします。

理事会

（10月6日 定例）

- 会員推薦書審議1件
- クラブ細則改正について
- 70周年事業の予算について
- 退会届1件受理
- 地区大会について
- 70周年記念事業「札幌の第9」について
- クラブフォーラムの結果について

